



# 大西さとし 市議会だより

2014. 1  
No.011



高松市議会 平成 25 年

第6回(12月)定例会の報告

## ◆ 12月議会

高松市議会は、12月4日から18日の15日間、平成25年第6回定例会（12月議会）を開催し、平成24年度一般会計・特別会計歳入歳出決算など4件を認定するとともに、平成25年度一般会計補正予算など88議案を可決し、陳情2件を不採択とし、人事案件5件に同意しました。

また、本議会において一般質問を行い、「学校教育」「観光振興とにぎわい創出」などについて、行政の考えを質しました。（質問概要は裏面に掲載）

## ◆ 高松市・金沢市「文化・観光交流協定」締結

高松市では昨年10月28日、金沢市との間に、ともに城下町として発展するなど共通点の多い両市が協力して、国内外からの一層の誘客を促進することでより魅力的なまちづくりと地域経済の活性化を図ることを目的に「文化・観光交流協定」を締結いたしました。

文化芸術創造都市としての金沢市は、伝統と現代が交わる都市として、若い芸術家や工芸関連の専門家を引き込むなどの戦略により、人口46万人と、本市と同規模でありながら、主要観光施設だけで年間500万人を超える観光客が訪れる都市へ成長を遂げてきました。

金沢市の文化芸術創造都市へ向けた戦略的な取組は、交流人口の増加をはじめ、若い芸術家や工芸関連の専門家に活躍の場を創出するなど、新たな雇用の創出にも繋がる先進事例であります。

今後高松市が、魅力や活力があふれる創造都市として発展し、市民のみなさまが、将来に対し夢や希望を抱けるよう努めてまいります。

引き続きのご支援、よろしくお願い申し上げます。

大西 智



# 活動日記



10/2 高松市戦没者慰霊祭



10/18 四国ドック労組 定期大会



10/28 高松市・金沢市  
「文化・観光交流協定」締結式



11/1 坂出発電所視察



11/7 中核市サミット 2013in 下関



11/18\_高松第一学園 英語教育視察



12/7 四労生研究フォーラム



12/22\_ファミリー餅つき大会



12/23\_木太北部 子ども会冬の祭り



1/13 2014 年高松市成人式



1/15\_英語教育視察\_粕壁小学校



1/17 ICTセミナー「オープンデータ」

発行:大西さとし後援会

<http://www.ohnishi-satoshi.jp>

◆後援会連絡所

〒760-0050

高松市亀井町7-9 高松電気ビル7階

TEL(087)837-2777 FAX(087)837-8783

◆後援会事務所

〒760-0080

高松市木太町 1849-1-602

TEL 090-8696-1730



## 12月定例会 代表質問の概略(抜粋)

### 学校教育関係について

#### ハートアドバイザー・スクールカウンセラ・スクールソーシャルワーカー配置事業について

##### ○大西議員

各事業における効果は、平成25年度「高松市教育振興基本計画の進行管理および点検・評価に関する報告書」によると、

- ・「小中学校における暴力行為の発生件数」は、平成20年度の570件に対して平成24年度は225件
  - ・「小中学校におけるいじめ発生件数」は、平成20年度の314件に対して、平成24年度は110件
  - ・「適応指導教室の児童・生徒の学校復帰率」は、平成20年度の34%に対して、平成24年度が45%
- と、各事業とも取り組みに対する一定の成果が出ている。

内閣府による、政府、地方自治体、民間団体等による子ども・若者育成支援施策について「若者がどのように評価しているのか」についての調査結果では、相談対応や支援を行う機関・団体、支援の在り方のうち、支援を受けた中で最も効果のあったと感じたものについて、

- ・「医師や保健師などの医療関係者」24.0%
- ・「スクールカウンセラー」10.7%
- ・「臨床心理士などの各種カウンセラー」10.0%

となっており、専門的知識を有する者による支援が有効であることが、この調査結果からも明らかである。そこで、

- ① これまでの事業実施により積み重ねている知見について、どのように分析をしているのか。
- ② 事業実施により得た知見を効果的にいかすための情報共有はどのように行っているのか。
- ③ 今後、その知見をどのように活用していくのか。

##### ◆松井教育長

① 本市では、暴力行為やいじめ、不登校などの生徒指導上の諸問題の解決のため、今年度は、ハートアドバイザーを小学校30校に、スクールカウンセラーを全小・中学校に、スクールソーシャルワーカーを全中学校に配置している。

それぞれの支援員が個々の子どもの心を落ち着かせるなど、直接的な関わりを始め、友達とのコミュニケーションの回り方の具体的な指導や、保護者と連携した学習や生活の支援など、子どもたち一人ひとりへの日々の継続的な働きかけが、暴力行為やいじめ、不登校等の減少という成果につながっているものと認識している。

② ハートアドバイザーについては、年2回研修会を開催し、具体的な事例をもとに情報交換を行い、児童理解のための知識の習得や適切な対応方法について協議し、技術の向上を図っている。

スクールカウンセラーについては、県教育委員会主催の連絡協議会に参加し、同一中学校区内の事例研究により、効果的な教育相談の工夫に生かしている。

スクールソーシャルワーカーについては、毎月の県単位で行われる研修会や、市教育委員会主催の連絡協議会で、具体的な実践事例をもとに、適切なかかわり型等を研修している。

③ 暴力行為など、問題行動等の未然防止と解消を図るためには、教職員はもとより、それぞれの支援員が適切な役割分担のもと、連携を強化し、組織的な生徒指導を行うことが重要である。

教育委員会として、これらの以遠員が、研修会や情報交換等で得た知識や技術を各学校の実態に即した取り組みに生かしてまいりたい。

## 観光振興とにぎわい創出について

### 本市への観光客の推移に対する所見と今後の観光客増加に向けた考え

#### ○大西議員

県外からの観光客数の推移としては、瀬戸大橋が開通した昭和63年の1,035万1千人が最も多かったものの、翌年の平成元年には、825万5千人となり、以降減少傾向が続き、阪神・淡路大震災の発生した平成7年が687万2千人と、瀬戸大橋開通の昭和63年以降で最も低くなっている。その後、明石海峡大橋の開通、しまなみ海道の開通、四国横断道の各区間の開通などに伴い増加傾向となり、昨年の平成24年は、瀬戸大橋開通の昭和63年以降で最も多い観光客数となっている。

一方、本市にある主要観光地の動向を見ると、「栗林公園」では58万3千人と、秋のライトアップの盛況などにより、2年ぶりの増加。「屋島」では52万9千人と、遍路の順路を逆にする「逆打ち」の参拝客の増加などから、6年ぶりに増加となっておりますが、県全体の観光客数の動向や、過去におけるピーク時の観光客数と比較すると未だ低迷している状況である。

このため、より多くの方に本市を訪れていただくためには、本市を訪れる方にとって魅力ある町となるよう、常に変化するニーズに対応するとともに、本市の持つ、瀬戸内海の多島美などの自然環境や歴史的・文化的資源を有効に活用することが必要である。

そこで、[本市への観光客の推移に対する所見と、今後の観光客増加に向けた考えは。](#)

#### ◆大西市長

観光客増加に向けては、これまでの老舗観光地の魅力を生かした観光振興施策などに、引き続き取り組むことに加え、創造都市高松として、産業、ものづくり、文化・スポーツ、国際交流事業など、関連する施策を有機的に絡ませ、これらを観光振興施策と一体的に推進することにより、都市ブランドイメージの向上を図ることが、重要であるものと存じている。

今後、これら施策を効果的に推進していくため、観光振興関連事業等に幅広く参加を求めて、これまで個々に進めていた取り組みを、共同で行う観光連携プラットフォームを構築することにより、総力をあげて、継続的、計画的な誘客等に努めてまいりたい。

### 本高松市・金沢市 文化・観光交流協定締結に伴い、魅力的なまちづくりと地域経済の活性化へ向けた交流事業を実施する考え

#### ○大西議員

10月28日、金沢市との間に、ともに城下町として発展するなど共通点の多い両市が協力して、国内外からの一層の誘客を促進することでより魅力的なまちづくりと地域経済の活性化を図ることを目的に「文化・観光交流協定」を締結した。

金沢市は、伝統と現代が交わる都市として若い芸術家と工芸関連の専門家を引き込むなどの戦略により、人口46万人と本市と同規模であるが、主要観光施設だけで、年間500万人を超える観光客が訪問する都市へ成長を遂げている。

このように金沢市の文化芸術創造都市へ向けた戦略的な取組は、交流人口の増加をはじめ、若い芸術家や工芸関連の専門家に活躍の場を創出するなど、新たな雇用の創出にも繋がる先進事例であり、本市として学ぶところは多いのではない。

そこで、[「高松市・金沢市 文化・観光交流協定」締結に伴い、魅力的なまちづくりと地域経済の活性化へ向けて交流事業を実施する考えは。](#)

#### ◆宮武創造都市推進局長

協定に基づく交流事業として、去る11月に、埼玉県越谷市で、香川県と石川県が合同で開催した観光キャンペーンに、金沢市とともに参加したほか、オーケストラ・アンサンブル金沢と瀬戸フィルハーモニー交響楽団との合同演奏会を本市で開催したところである。

今後の交流事業につきましては、現在、金沢市との間で協議を進めている、本市の魅力を高め、地域経済の活性化を図るため、金沢市の文化芸術やものづくりなどにおける先進的な取り組みを取り入れた交流事業を、積極的に推進してまいりたい。